



ID: 1289

科目名	建築概論【26年度生用】			コード			
英語表記	Introduction of Architecture						
担当教員名	多賀 直恒			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
本講義では、建築学の基礎的な枠組みを理解し、建築構造・建築設備・建築計画を学ぶための準備と勉学の方法を身につける。大学に入ったばかりの建築を学ぼうとする学生に、建築全般に対する関心と興味を喚起するように、4年間で習得する教育の基礎となる知識・情報と履修する方法や手段を平易に解説する。併せて将来専門の職種に就く場合の建築業界や専門の職能で活躍できる社会の概要を解説し、専門教育の学習の心構えや学習方法を身につける基礎的素養を講義する。							
到達目標							
(1) 建築に関する専門用語、学術用語を理解する。(2) 建築の建築計画、構造力学、構造デザイン、建築構法及び構造形式(類型)等の内容の概要を学ぶ。(3) 建築材料、環境、都市コミュニティ、建築計画及び建物の設計プロセス、完成後等の内容の概要を学ぶ。							
授業計画							
第1回	大学で学ぶ建築学習の内容と方法及び到達目標を理解する						
第2回	住まいの歴史的変遷と現代に住まい 建築の構法と工法 古代～近世						
第3回	造る技術の発展と建築の様式 近代～現代、建築家の住宅						
第4回	民家の住宅構造から考える住まいの類型と人間のライフスタイル						
第5回	住宅の建設プロセスを全体的に理解する、住宅の計画の概説、土地、設計の考え方						
第6回	集合住宅の住まいを通じて都市の安全を考える、						
第7回	事務所建築の仕組み、法規、給排水、エネルギー供給、エレベーター、防災管理						
第8回	住まいの安全と豊かさ、建築の受け災害及び荷重・外力の考え方						
第9回	構造の形式に及ぼす影響因子 気候風土・材料強度・生活様式						
第10回	建築構造の材料と荷重による物理的特性と形態の特質、鉄筋コンクリート構造、鋼構造の仕組み						
第11回	建築の構成の中での室内環境の仕組み(日照・光・通風・湿気・熱・音・空気汚染)						
第12回	自然環境や都市環境に対する都市・建築・住宅の対応の仕方						
第13回	社会構造や人口構造の変化に対応する住まいのあり方						
第14回	建築設計の総合的まとめと建築関連業界の概要を概説						
第15回	建築の理解には、各部分を総合して全体のシステムを構成することが必要である						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
講義ごとのレポート及び講義の課題を総合的に評価する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	50		20
授業外学習			テキスト、教材				
講義ごとに小論文を課す。			課題内容プリント(講義ノート)を配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
『建築通論 建築のなりたち』(第三版、彰国社)、			建築学の初歩の学習者に平易に概要を解説し、勉学意欲の高揚に努める建築学の基本的なガイダンスを内容にしている。				
キーワード							
建築学の概要・建築設計・建築構造・建築計画・建築施工・建築設備・建築史・建築技術							